

インターネット版「さっぽろ文庫」の公開について

「さっぽろ文庫」は、札幌の生活と文化を語り継ぎ、後世に残すための双書(そうしょ)として、昭和 52 年に第一巻となる「札幌地名考」が発刊されました。以来、延べ 3,200 人の方が執筆に携わり、平成 14 年に発刊した最終巻「北都、その未来」まで全 100 巻を刊行しました。

しかし、全 100 巻のうち 60 巻は既に絶版となり、市民の皆さんが気軽に手に入れることができない状況になっています。

そこで今回は、絶版のうち 45 巻分を「電子本」としてデジタル化し、ホームページから無料公開することにより、インターネットを通じて地域の文化資産を市民に還元してまいります。

1 公開予定日等

5月28日(金)10:00 公開予定

ホームページの URL <http://www.sapporobunko.jp/>

2 インターネット版の特長

(1) 許諾を得た文章のみ公開

今回インターネット版として公開するのは、既に絶版となっている 60 巻のうちの 45 巻分です。

閲覧できる文章は、執筆者あるいは著作権を保有する代理人の方に、それぞれの文章のデジタル化とインターネットでの公開について許諾をいただいたもの(執筆者全体の 7 割程度、ページ数全体の 8 割程度)のみです。

(2) 閲覧は無料

地域文化資産のデジタルアーカイブ(電子化保存)化を進める任意団体「さっぽろデジタルアーカイブ協議会(SDAC)」が運営するホームページを通じて、無料で公開します。

閲覧には、「T-Time」という無料専用ソフトを利用します。このソフトウェアによって、縦書き・横書きの切り替えや、文字の大きさの変更等ができます。ただし、印刷することはできません。

「さっぽろデジタルアーカイブ協議会(SDAC)」

設立：平成14年2月 会長：山本 強北海道大学大学院教授

構成：札幌市ほか9企業による任意団体

3 インターネット版公開の背景

(1) 地域の財産を市民に還元

「さっぽろ文庫」に掲載されている札幌にまつわる情報の数々は、いわば地域の共有財産で、常に市民の皆さんが親しめることが望ましいと考えられます。しかし、「さっぽろ文庫」という冊子、特に絶版となった巻については、手にとってご覧いただく機会が少なかったのではないのでしょうか。

市民の皆さんが、もっと気軽に「さっぽろ文庫」に触れ、地域の財産を有効に活用していただくために、インターネットを通じて公開いたします。

(2) 資料の保全

第一巻の刊行から四半世紀が経過し、執筆していただいた著作権者の方々の所在や消息がわからなくなりつつあります。このままでは、この貴重な「さっぽろ文庫」の保全を図り、今回のように二次利用という形で再公開することが困難になってしまいます。

そこで、今この段階で権利関係を調査・整理し、執筆者や代理人の方にデジタル化及びインターネットを通じた公開について同意していただいて、これら資料の保全を図ることも目的の1つとしています。

4 今後の予定

札幌市では、平成15年度から市が所蔵する歴史的・文化的価値のある資料の電子化保存を行う「デジタルアーカイブ化推進事業」を進めています。

今回は、特に体系的に整理されておりボリュームのある「さっぽろ文庫」を優先的に電子化保存するという考えのもと、絶版となったうちの一部をインターネット版として公開することとしました。

残りの巻については、平成16年度も引き続きデジタル化とインターネット公開に向けた権利関係の整理を続け、当該ホームページで順次追加公開していきます。

問い合わせ先

企画調整局情報化推進部 IT 推進課地域情報担当係

電話 211 - 2184 (岡, 白石)

さっぽろ文庫絶版巻及び公開対象巻

平成16年5月12日現在

巻数	タイトル	解説
1巻	札幌地名考	地名の由来, 各地域の歴史などを解説する
2巻	札幌の街並	写真と随筆で変わり行く街並の新旧を対照する
3巻	札幌風物誌	建物などの他季節にまつわる風物も含めて随筆と挿絵
4巻	豊平川	豊平川の全貌を多角的に捉える
5巻	札幌の詩	札幌の街の詩情を解題, 詩壇史によって浮き彫りにする
6巻	時計台	思い出なども綴る時計台の百年史
7巻	札幌事始	札幌での諸事の百年間の消長
8巻	札幌の橋	札幌の橋を多角的に捉え, 橋の今昔をさぐった
9巻	札幌の短歌	札幌の短歌の全貌と歴史
10巻	札幌風土記	札幌のなりたち, 札幌人気質, 言葉などから風土を解説
11巻	札幌の駅	札幌駅百年の歩み, 地下鉄誕生から現在までの経過と展望
12巻	藻岩・円山	両山の歴史, 自然, 施設, 生物など全容を描く
13巻	札幌の俳句	俳壇の歩み, 札幌における俳句の全貌と歴史
14巻	昭和20年の記録	戦時下での思想, 空襲, 終戦後の連合軍の進駐など
15巻	豊平館・清華亭	建築から保存, 利用, 人との関わり合いなど
16巻	冬のスポ?ツ	各種競技会, 札幌オリンピック
17巻	札幌の絵画	札幌の画壇の歩みと現状, 美術館, ギャラリー?
18巻	遠友夜学校	新渡戸稲造, 有島武郎, 半沢洵など明治, 大正のロマン
19巻	お雇い外国人	札幌の街づくりに招かれた外国人の働きを各方面から考察する
20巻	札幌の自然	四季折々の札幌の自然を紹介する
21巻	札幌の彫刻	作品, 作家たちを紹介, 解説, 歴史や回顧
22巻	市電物語	市電に愛着を込め, その歩みと今後の方向を探る
23巻	札幌の建物	街並景観の中の建物に視点を当てた
24巻	札幌と水	生活に欠かせない水とのかかわりを気象, 地形, 自然の面から考察する
25巻	札幌の演劇	演劇の歩み, 劇団の活動, ドラマの制作などの軌跡をたどる
26巻	明治の話	古老50人からの聞き語りに探る明治の札幌
27巻	職人物語	職人がみる暮らしの風景, 職人芸, 職人像を探る
28巻	気象辞典	札幌の気象に広い角度から照明をあて記述し気象記録, 用語解説
29巻	札幌歳時記	札幌の四季や自然, 歴史と深いかかわりを持つ俳句と短歌
30巻	旧制中物語	学校の沿革や校風, 名物先生, 校内風景など
31巻	札幌食物誌	札幌の食文化の系譜と料理の作り方
32巻	大通公園	大通公園の現在に至るまでの歩みや催し歳時記, 碑像や彫刻
33巻	屯田兵	北の地を守り開拓に従事したパイオニアたち
34巻	新渡戸稲造	国際人として理想を追い求めた札幌の稲造伝
35巻	女学校物語	公私立女学校の変遷を当時の先生, 旧制中学生, 女学生が綴る
36巻	狸小路	この街の歴史と現在と課題を多角的に捉える
37巻	札幌事件簿	80余りの衝撃的な事件の様相とその背景にある当時の世相
38巻	札幌の樹々	樹々が人々に何を語りかけてきたかを探る
39巻	札幌の寺社	行事を通じ人々と密接に関わってきたその歩みと役割をたどる
40巻	札幌収穫物語	札幌名産の作物に焦点を当て, 系譜と消長をたどる
41巻	札幌とキリスト教	札幌の人々の思想形成と生活に与えた影響と果たしてきた役割
42巻	札幌随筆集	札幌ゆかりの随筆集
43巻	大正の話	古老達が語る大正の札幌
44巻	川の風景	水辺の動植物, 風物詩などを紹介, 川の四季折々の表情をさぐる
45巻	札幌の碑	札幌にある碑600余りを取り上げその由来を紹介する
46巻	札幌の小学校	札幌の小学校生活の昔と今
47巻	雪まつり	雪まつりの移り変わりに関わった人々の熱い想いを綴る
48巻	札幌の山々	近郊の山々50峰を紹介, 四季折々の表情や移り変わり思い出などを綴る
49巻	札幌と映画	映画館の変遷, 名作の数々, 写真を中心に札幌のある時ある日の再現
50巻	開拓使時代	大札幌の原型が創られたこの時代をさぐる
51巻	いま, 札幌は	新しい世紀に向けて札幌のいまを尋ねる
52巻	札幌昆虫記	北に棲む虫たちの世界を多角的にのぞく
53巻	札幌と書	札幌の風土の中に育った書の世界を捉える
54巻	県人会物語	札幌とともに生きともに歩んだ同郷の心を探る
55巻	札幌と料理	北国の素材を生かした料理の文化を紹介する
56巻	花ある風景	札幌の四季の移り変わりを彩る花々を歩く
57巻	札幌と音楽	市民に親しまれてきた洋楽の世界を見る
58巻	札幌の通り	「道」が語る人々の生活・・・この街の表情
59巻	定山溪温泉	温泉地として歩んできた定山溪と周辺を探る
61巻	農学校物語	北の地に教育とロマンを創造した学舎あれこれ

さっぽろ文庫全100巻のうち, 絶版は1巻から59巻と61巻の計60巻。
今回公開するのは, 上記の表で網掛けされていない計45巻。